

令和5年12月議会 総務財政委員会報告資料

- 1 次期基本計画策定に向けた市民意見募集「みんなで作る
福岡市の将来計画プロジェクト」の実施結果について…………… 1頁
- 2 福岡市の将来人口推計について……………25頁

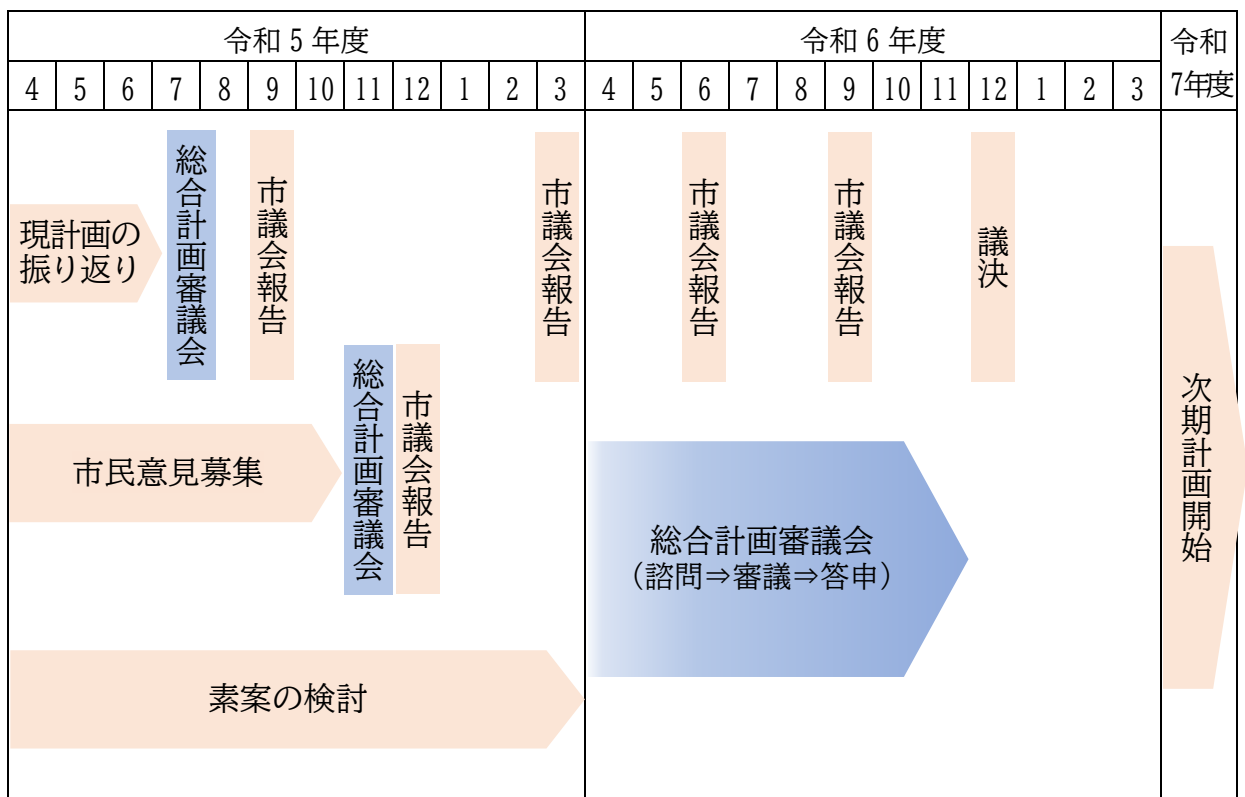
総務企画局

1 次期基本計画策定に向けた市民意見募集 「みんなでつくる福岡市の将来計画プロジェクト」の実施結果について

1 趣旨

第9次福岡市基本計画（以下「現計画」という。）が、令和6年度末をもって計画期間の満了を迎えることから、次期基本計画（以下「次期計画」という。）の策定に向けた検討を進めるにあたり、次代を担う子どもたちや若者をはじめ、幅広い市民等から意見を募集するもの。

2 次期計画の策定スケジュール



3 実施期間

令和5年4月25日から10月31日まで（ワークショップ等については11月末まで）

4 周知方法

市政だより、ホームページ、LINE、YouTube、Facebook、X（旧 Twitter）、7区の自治協議会会長会、公共施設・駅・学校・商業施設へのポスター掲示 など

(1) オンラインアンケート	3
① アンケート内容	
② 回答件数	
③ 回答結果	
(2) メールや郵送等による意見の受付	11
① 意見件数	
② 意見分類	
(3) 外国からの来訪者へのアンケート	12
① 回答件数	
② 回答結果	
(4) ワークショップ	13
① 開催状況、参加者数	
② 意見分類	
(5) ゲーム(マイクラフト)を活用した取組み	16
① 参加者数	
② 作品	
(6) 小中学校での意見募集	17
① アンケート内容、回答結果	
② 福岡こども未来サミット	
(7) 有識者インタビュー	22
(8) 民間主導の取組み	23
① 実施内容	
② 提言	

(1) オンラインアンケート

スマートフォンの普及などを踏まえ、いつでも誰でも回答できるオンラインアンケートを実施

① アンケート内容

ア 「あなたにとっての幸せな未来のために特に大切なこと」を次の中からすべて選択

- 運動、食事、睡眠など健康的な生活ができること
- 仕事や多様な働き方が選べること
- 住みたい場所に住めること
- 誰もが思いやりを持ち、自分らしく生きられる社会であること
- 災害や犯罪などの不安が少ないこと
- 配偶者・パートナーと生活できること
- 出産や子育てがしやすいこと
- 自分や子どもが学びたいことを学べること
- 家族の介護が安心なこと
- 家庭や学校・職場以外にも居場所があること
- 地域社会に貢献すること
- 日常生活や市外への移動に交通機関が便利なこと
- 身近に海や山などの自然があること
- 文化・スポーツ・レジャー施設などが充実していること
- その他(自由記述)

イ 選択した項目について、現在の満足度を4段階で回答

ウ 福岡市や自分自身の未来についての意見を回答(自由記述)

② 回答件数

8,242 件

<年代別内訳>

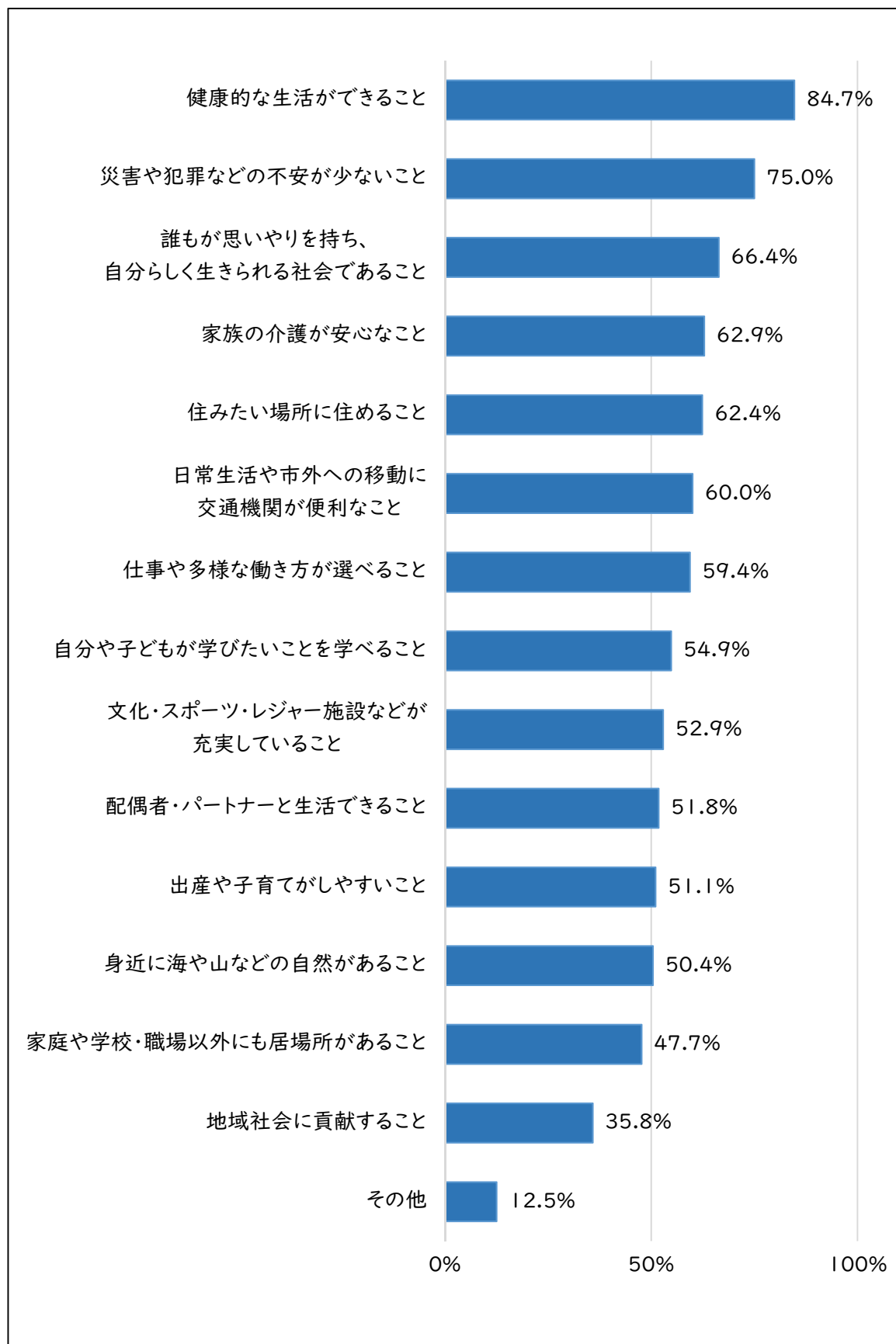
18歳未満	18~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
83	838	1,771	2,158	1,725	1,094	573

<居住区別内訳>

東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	市外
1,521	1,146	1,185	1,314	622	1,090	1,007	357

③ 回答結果

ア 「あなたにとっての幸せな未来のために特に大切なこと」の選択割合(全年代)



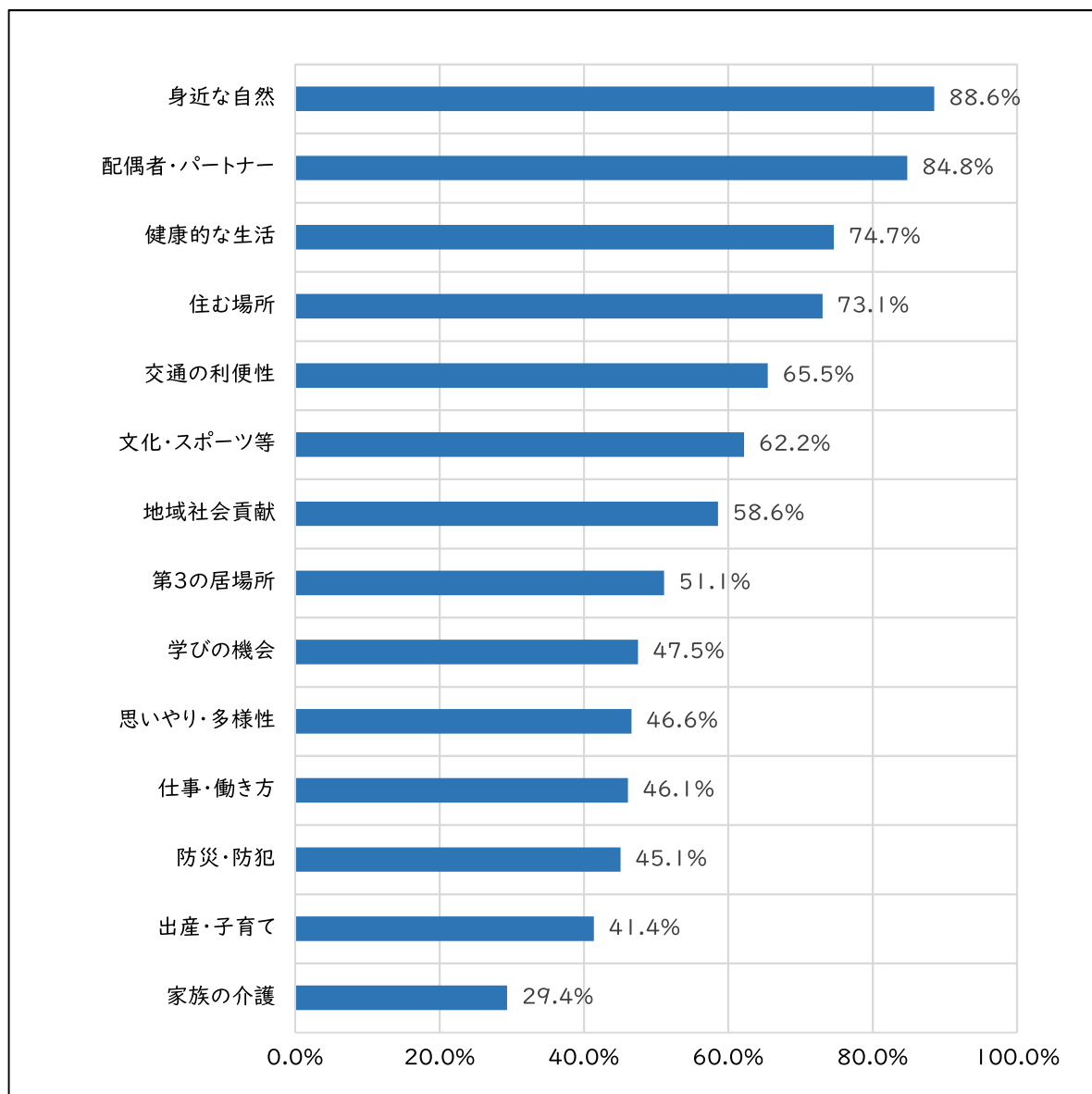
イ 「あなたにとっての幸せな未来のために特に大切なこと」の選択割合（年代別）

	18歳未満	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1	健康的な生活	健康的な生活	健康的な生活	健康的な生活	健康的な生活	健康的な生活	健康的な生活
2	防災・防犯	出産・子育て	出産・子育て	防災・防犯	防災・防犯	防災・防犯	防災・防犯
3	交通の利便性	住む場所	防災・防犯	家族の介護	思いやり・多様性	思いやり・多様性	思いやり・多様性
4	第3の居場所	防災・防犯	学びの機会	思いやり・多様性	家族の介護	家族の介護	交通の利便性
5	住む場所	仕事・働き方	仕事・働き方	仕事・働き方	住む場所	交通の利便性	家族の介護
6	出産・子育て	学びの機会	住む場所	学びの機会	仕事・働き方	住む場所	住む場所
7	学びの機会	交通の利便性	思いやり・多様性	住む場所	交通の利便性	文化・スポーツ等	身近な自然
8	仕事・働き方	配偶者・パートナー	家族の介護	交通の利便性	文化・スポーツ等	身近な自然	配偶者・パートナー
9	思いやり・多様性	思いやり・多様性	配偶者・パートナー	文化・スポーツ等	身近な自然	配偶者・パートナー	文化・スポーツ等
10	文化・スポーツ等	文化・スポーツ等	交通の利便性	出産・子育て	配偶者・パートナー	地域社会貢献	地域社会貢献
11	家族の介護	家族の介護	文化・スポーツ等	身近な自然	第3の居場所	第3の居場所	第3の居場所
12	配偶者・パートナー	第3の居場所	身近な自然	第3の居場所	学びの機会	仕事・働き方	学びの機会
13	身近な自然	身近な自然	第3の居場所	配偶者・パートナー	地域社会貢献	学びの機会	仕事・働き方
14	地域社会貢献	地域社会貢献	地域社会貢献	地域社会貢献	出産・子育て	出産・子育て	出産・子育て
15	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他

（年代による主な特徴）

- **健康的な生活ができること** や、 **災害や犯罪などの不安が少ないこと** は、すべての年代で選択割合が高かった。
- **家庭や学校・職場以外にも居場所があること** は、全年代では47.7%で、13番目だったが、18歳未満では68.7%で4番目に高かった。
- **出産や子育てがしやすいこと** は、全年代では51.1%で、11番目だったが、18～29歳では72.7%、30代では76.9%で、いずれも2番目に高かった。
- **交通機関が便利なこと** は、全年代では60.0%で、6番目だったが、18歳未満では69.9%で3番目、70歳以上では65.3%で4番目に高かった。
- **身近に自然があること** は、29歳以下では43.5%で13番目だったが、年代が上がるほど上位となり、70歳以上では49.2%で7番目に高かった。

ウ 選択した項目の現在の満足度（満足+やや満足の割合）



エ 「あなたにとっての幸せな未来のために特に大切なこと」の自由記述項目（抜粋）

- 友人・仲間がいること
- 外国人との交流があること
- ペットと共に安心して暮らせること
- 安定した収入が得られ、安定した生活が送れること
- まちに活気があること、今後も成長が見込めること
- テクノロジーの活用が進んでいること
- 戦争がなく、平和な世界であること
- 気候変動に対応していること
- 地産地消が実現できていること

オ 福岡市や自分自身の未来についての自由記述意見(延べ 3,315件)

➤ ユニバーサルデザイン、健康、福祉(504 件)

分類	主な意見
多様性 バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ◆多様な人が自分らしく生きられるためのまちづくり (20 代以下・南区) ◆自由に選択ができる福岡市 (70 代以上・城南区) ◆「お先にどうぞ」が当たり前の優しい市 (40 代・南区) ◆1 人でがんばって生活している人にも優しい福岡 (30 代・城南区) ◆歩道の段差をなくし、自転車やベビーカー、車椅子でも安心に(50 代・中央区) ◆歩くのが楽しいまち (50 代・中央区)
女性	<ul style="list-style-type: none"> ◆女性が社会に出てもっと活躍できるように (30 代・中央区) ◆生物学的に力の弱い女性や子どもたちを守れる配慮 (30 代・早良区)
高齢者 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ◆70代になっても柔軟に仕事ができるシステムや意識づくり (60 代・城南区) ◆老後でも安心して暮らせる福岡市 (40 代・西区) ◆介護することも幸せに感じられる福岡市 (40 代・博多区) ◆高齢者になった時に生活できる場所の選択肢がたくさん持てること (40 代・西区) ◆心身に障がいのある人が得意な面を活かして活躍できる場づくり (40 代・西区)

➤ 子ども、教育(652 件)

分類	主な意見
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆保育園、幼稚園から大学まで教育費の無償化 (40 代・博多区) ◆子育て支援の所得制限を無くしてほしい (30 代・早良区) ◆子どもを産む=お金と時間がとられるというイメージが変わるような支援 (20 代以下・東区) ◆子育て女性のキャリア形成がしやすい社会 (40 代・南区) ◆安心して子育てと仕事が両立できる環境 (20 代以下・南区) ◆保育園の多様化 (30 代・市外居住)
子ども支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもたちがのびのび遊べるところがほしい (60 代・東区) ◆自分が感じている以上の幸せを子どもたちが感じることができる福岡市(40 代・南区) ◆子や孫が大人になるのを楽しみに思える様に (70 代以上・早良区) ◆子どもが大人になった時も住み続けて結婚子育てをしたいと思えるまち(20 代以下・早良区) ◆障がいのある子どもでもいろいろな選択肢ができる社会 (40 代・南区)
教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆実際の社会での活躍に繋がりがあがる教育 (30 代・中央区) ◆子どもが自分のやりたい事において学べる場所 (40 代・西区) ◆教員を「笑顔で元気に働く大人」にしてほしい (50 代・中央区) ◆不登校の子の居場所を学校以外で増やしてほしい (40 代・西区) ◆小学校、中学校の学区制を廃止して選択制にしてほしい (30 代・東区)

➤ 文化芸術、スポーツ(160件)

分類	主な意見
文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> ◆音楽やアートなどの芸術が街中で楽しめる(40代・南区) ◆美術館や博物館にもっと力を入れてほしい(30代・博多区) ◆コンサートホール、ライブハウス、大中小の会場(40代・中央区) ◆本に気軽にアクセスしたい(30代・南区)
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ◆自由に気軽にスポーツを楽しめる施設をたくさん作ってほしい(40代・西区) ◆ランニング・ウォーキングコースの距離表示を増やしてほしい(40代・東区) ◆日本代表戦もできるような球技専用のフットボールスタジアム(30代・東区)

➤ 地域コミュニティ(86件)

分類	主な意見
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニティでお互い声をかけ合い、困った時にすぐ助け合えるようなまち(40代・南区) ◆高齢者や子育て世帯が孤立せず、安心して暮らせる地域コミュニティ(50代・西区) ◆利害関係のない人同士の交わりが日常的にできる第3の居場所(60代・早良区) ◆公民館を中高生の自習や高齢者の買い物など便利に使えるように(40代・博多区)

➤ 防災、都市基盤(161件)

分類	主な意見
防災 道路整備 住宅	<ul style="list-style-type: none"> ◆災害、有事に備えるまちづくり(50代・中央区) ◆子供でも老人でも安心して安全に歩ける道路整備(50代・東区) ◆自転車で移動しやすい道路整備(30代・博多区) ◆電信柱のないまちづくり(40代・南区) ◆独り身の高齢者が安心して住める住居(50代・東区) ◆住みたいところに安価で安心して住める(40代・南区)

➤ 防犯、モラル・マナー(155件)

分類	主な意見
防犯 モラル・マナー	<ul style="list-style-type: none"> ◆犯罪や事故が少ない安心して住めるまち(60代・西区) ◆防犯カメラの設置を増やして犯罪を抑止(40代・博多区) ◆自転車への交通の取り締まりを強化してほしい(40代・西区) ◆歩きタバコやポイ捨てのないまち(40代・東区) ◆動物と一緒に暮らせる場所(60代・南区)

➤ 環境、自然(158件)

分類	主な意見
環境 自然 緑・公園	<ul style="list-style-type: none"> ◆再生可能エネルギーやEVの推進(20代以下・城南区) ◆リサイクルをもっと身近に簡単にできるようにしてほしい(40代・南区) ◆自然を生かしたまちづくり(30代・西区) ◆ほどよく都会でほどよく田舎っぽさが残るまち(70代以上・東区) ◆花や緑に溢れたまち(50代・南区) ◆幅広い年齢層の憩いの場となる公園(20代以下・中央区)

➤ 交通(445件)

分類	主な意見
総論	<ul style="list-style-type: none"> ◆市内隅々、交通の不便さの不平等を少しでもなくしていく福岡市(70代以上・東区) ◆鉄道のネットワークを、もっと充実させてほしい(50代・西区) ◆バスの本数を増やしてほしい(60代・早良区) ◆自宅から最寄りの駅までのアクセスが近い(50代・博多区) ◆高齢者が「運転しなくてもよい」と思えるような環境づくり(50代・中央区) ◆交通機関のタッチ決済を普及させてほしい(20代以下・南区) ◆公共交通の混雑緩和が必要(20代以下・博多区) ◆市内中心部への交通流量の減少に向けた対策(40代・南区)
各論	<ul style="list-style-type: none"> ◆南区にも地下鉄を通してほしい(50代・南区) ◆地下鉄の姪浜駅と橋本駅を繋げてほしい(50代・西区) ◆ドームや国際会議場へのアクセス(50代・城南区) ◆アイランドシティへの交通の便をもっと便利に(30代・東区) ◆空港の国際線に地下鉄で行けるようにしてほしい(40代・中央区)

➤ 経済振興、都心部(299件)

分類	主な意見
企業誘致 雇用創出 働き方	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本で最も新しいビジネスが集まる場所 (40代・城南区) ◆有力な企業が誘致され、故郷を捨てずに活躍できる環境(30代・早良区) ◆理系で勉強した子どもたちが働く場所の充実 (50代・城南区) ◆福祉職や保育士等の収入が増えるようにしてほしい (50代・早良区) ◆リモートワークやフレックスタイム制などの多様な働き方を推進 (20代以下・南区)
観光 レジャー施設 商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ◆福岡を象徴するランドマークがほしい (20代以下・中央区) ◆福岡城の天守閣を再建してほしい (30代・中央区) ◆大型テーマパークを作してほしい (30代・博多区) ◆商店街は残してほしい (40代・中央区)
農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業や漁業など食の中心を担う人たちが力を発揮できる社会 (60代・城南区)
都心部	<ul style="list-style-type: none"> ◆天神に図書館を作してほしい (50代・城南区) ◆誰もが利用できる都会のオアシスみたいな緑多い場所 (70代以上・中央区)

➤ 国際(59件)

分類	主な意見
国際化 共生	<ul style="list-style-type: none"> ◆世界の人々が来てよかった、住んでみたいと思えるまち (40代・中央区) ◆外国人が日本人のコミュニティでも自然に馴染める社会 (20代以下・早良区)

➤ その他(636件)

分類	主な意見
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆古き良きものを残しつつ進化してほしい (40代・博多区) ◆自然や食べ物、お祭りなど地域の特性を活かした福岡らしいまちづくり (60代・城南区) ◆九州全体発展のキーマン (40代・中央区) ◆福岡都市圏としての成長戦略が必要 (60代・早良区) ◆デジタル技術の活用で、さまざま便利で生産性の高い社会 (50代・城南区) ◆必要な人が必要な情報を受け取りやすい環境 (40代・中央区) ◆次世代のチャレンジを応援できるまち (30代・東区) ◆美しい建物を建て並べ、緑豊かな街並みを誇るまちづくり (60代・早良区) ◆物価高を抑えて労働賃金を増やす (50代・博多区) ◆都市部ばかりではなくて郊外の方にも目を向けてほしい (30代・東区) ◆行政などに声が届きやすい社会 (60代・南区) ◆行政での相談が一つの窓口で全て完結できるシステム (50代・東区) ◆2050年以後も持続可能なまちづくり (50代・東区) ◆大好きな福岡市。老若男女住み良いまちであり続けてほしい (50代・城南区)

(2) メールや郵送等による意見の受付

メールや郵送など、一人ひとりの実情に応じた手法により意見を受付

① 意見件数

区 分	件数(延べ)
小学生からの作文、工作等	49
高校生、大学生からの提言	6
自治協議会からの意見	25
メール	21
郵送	5
その他(来庁、電話等)	37
計	143

② 意見分類

分 類	件数(延べ)
ユニバーサルデザイン、健康、福祉	11
子ども、教育	17
文化芸術、スポーツ	6
地域コミュニティ	11
防災、都市基盤	6
防犯、モラル・マナー	19
環境、自然	14
交通	14
経済振興、都心部	22
国際	4
その他	19
計	143

(3) 外国からの来訪者へのアンケート

世界水泳期間中の来街者に、福岡市について「良かった点」と「物足りなかった点」を質問

① 回答件数

503 件

<回答者国籍>

フランス、ドイツ、スペイン、イタリア、イギリス、アメリカ、カナダ、メキシコ、オーストラリア、
中国、韓国、香港、台湾、インド、タイ、シンガポール 他

② 回答結果

「良かった点」上位5項目

	項目	選択割合
1	食事	74.6%
2	人の親切さ	72.4%
3	交通	47.3%
4	歴史文化	35.2%
5	おもてなし環境	31.0%

「物足りなかった点」上位5項目

	項目	選択割合
1	多言語表示	19.7%
2	キャッシュレス決済	10.5%
3	WI-FI 等通信環境	10.1%
4	交通	6.8%
5	宿泊	5.8%

【選択項目】

- > 食事
- > 体験(アクティビティ)
- > 買い物
- > 人の親切さ
- > 自然
- > 歴史文化
- > 交通
- > 宿泊
- > ナイトタイム
- > 世界水泳大会のおもてなし環境
- > 多言語表示
- > WI-FI 等通信環境
- > キャッシュレス決済
- > その他

(4) ワークショップ

高校、大学、市民サークル、企業や団体など、多様なコミュニティに市職員が参加し、自分自身や福岡市の未来について考え、語り合うワークショップを開催

① 開催状況、参加者数

40回、1,198人（R5.11.16時点）

No.	開催日	団体名等	参加者数
1	R5. 2.22	板付小学校	106
2	R5. 6. 5	九州産業大学	97
3	R5. 6.10	筑紫丘高等学校	30
4	R5. 6.10	福岡高等学校	50
5	R5. 6.10	ZEXT 九州支部	47
6	R5. 6.19	福岡大学	29
7	R5. 6.21	学びを楽しむ会	10
8	R5. 7. 6	九州経済調査協会	13
9	R5. 7.11	西南学院大学	21
10	R5. 7.25	上智福岡中学高等学校	5
11	R5. 7.28	Togatherland	14
12	R5. 7.30	ZEXT	97
13	R5. 8. 5	EatScene	15
14	R5. 8.26	福岡テンジン大学、福岡地域戦略推進協議会、 福岡未来創造プラットフォーム	54
15	R5. 9. 6	福岡空港地域対策協議会	7
16	R5. 9. 8	福岡大学	46
17	R5. 9.11	tatamama	13
18	R5. 9.11	福岡外語専門学校	22
19	R5. 9.12	福岡市の10年後を考える会	9
20	R5. 9.19	九州大学	11
21	R5. 9.30	福岡テンジン大学	23
22	R5.10. 4	福岡大学	34
23	R5.10. 6	福岡教育大学附属福岡小学校	34
24	R5.10.10	博多まちづくり推進協議会	26
25	R5.10.15	ミニふくおかサポーター	31
26	R5.10.16	福岡大学	11
27	R5.10.17	福岡アジア都市研究所、福岡市	82
28	R5.10.20	唐津街道（箱崎宿）プロジェクト	17
29	R5.10.20	福岡大学	10
30	R5.10.22	ミニふくおか子ども実行委員会	60

No.	開催日	団体名等	参加者数
31	R5.10.25	福岡の食と農の未来を考える会	15
32	R5.10.25	三菱電機株式会社九州支社	28
33	R5.10.25	福岡工業高等学校	14
34	R5.10.28	School Social Agent	18
35	R5.11.1	福岡教育大学附属福岡小学校	36
36	R5.11.10	理学療法士と産後ケアについて考える会	8
37	R5.11.13	福岡女子大学	15
38	R5.11.16	小呂島	14
39	R5.11.16	介護と美容のこれからを考える会	15
40	R5.11.16	福岡大学	11

②意見分類

分類	件数(延べ)
ユニバーサルデザイン、健康、福祉	105
子ども、教育	119
文化芸術、スポーツ	24
地域コミュニティ	29
防災、都市基盤	12
防犯、モラル・マナー	60
環境、自然	73
交通	61
経済振興、都心部	108
国際	34
その他	120
計	745

<ワークショップの様子>



(5) ゲーム(マイクラフト)を活用した取組み

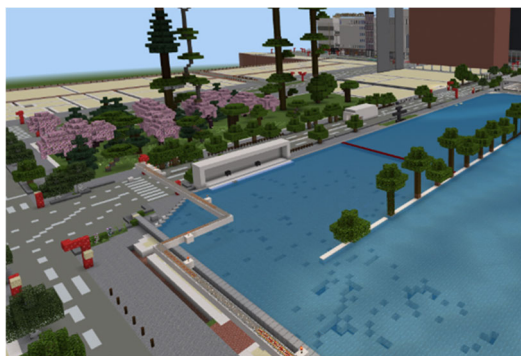
「未来のまちづくりプロジェクト in FUKUOKA」として、小学生(4年生~6年生)がゲーム(マイクラフト)を活用し、「住みたいまちの姿」を表現

① 参加者数

18人



② 作品



(6) 小中学校での意見募集

市内の小中学生約12万人を対象に、一人一台のタブレット端末を活用したアンケートを実施し、実行委員会できりまとめ、「福岡こども未来サミット」で「福岡市の将来像」を発表

① アンケート内容、回答結果

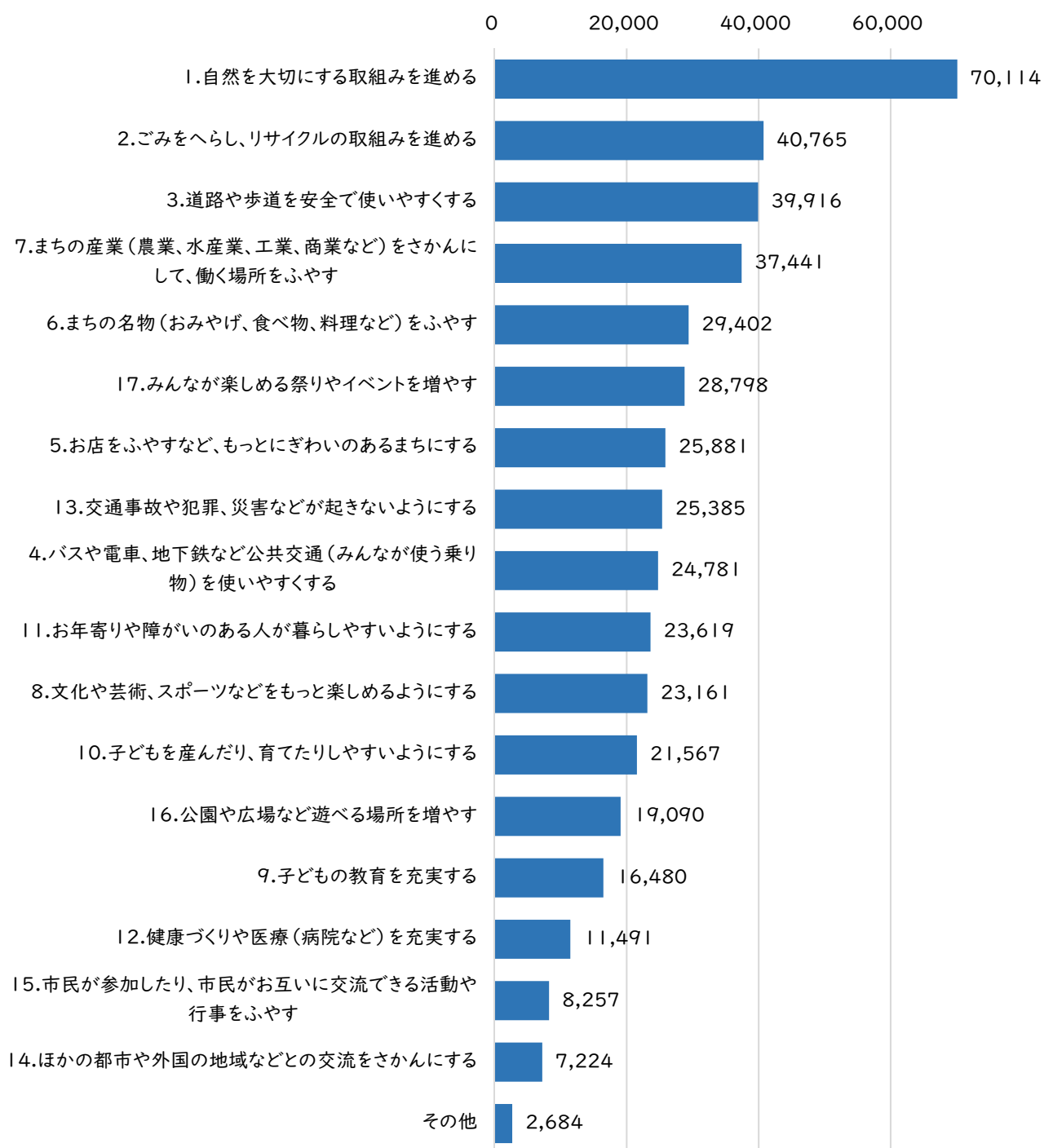
質問1（全学年対象）

福岡市（小1・小2は「自分が住んでいるまち」）のことについて、それぞれどのように思っていますか。

項目	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
まちに木や花などの緑が多いと思う	47.9%	39.0%	9.8%	3.3%
バスや電車、地下鉄などの利用がしやすいと思う	61.0%	29.0%	6.7%	3.2%
買い物がしやすいと思う	66.5%	26.5%	4.9%	2.1%
しんせんでおいしい食べ物が多いと思う	61.5%	31.6%	5.2%	1.7%
文化や歴史などについて学ぶことができると思う	40.5%	38.9%	15.5%	5.1%
学校は勉強しやすい環境が整っていると思う	60.1%	31.3%	5.9%	2.7%
子どもやお年寄りが安心して生活していると思う	56.4%	33.7%	7.5%	2.4%
病気やけがをしたときに病院に通いやすいと思う	52.7%	33.5%	9.7%	4.2%
地域（まち）の人は協力し合っていると思う	59.0%	31.9%	6.6%	2.5%
自然災害（台風や地震など）が少ないと思う	44.2%	32.9%	15.4%	7.5%
犯罪（どろぼうや不審者などの事件）が少ないと思う	30.2%	33.7%	23.2%	12.9%
ルールやマナーを守って生活する人が多いと思う	40.5%	41.3%	14.1%	4.1%
遊べる場所が多いと思う	55.8%	27.6%	11.4%	5.2%

質問2(小3~中3対象)

福岡市がまちづくりを進めていくうえで、あなたが大切にしたいほうがよいと思うものはどれですか。



質問3 (小3～中3対象)

福岡市のまちづくりについて意見がある人は、書いてください。【自由記載】

分類		件数
環境 (2,414)	みどり、自然、生きもの	1,711
	ごみ・リサイクル	350
	全般	162
	地球環境・エネルギー	102
	水辺	89
生活安全 (2,331)	防犯	697
	全般	633
	ルール・マナー	470
	交通安全	365
	防災	166
生活環境 (2,043)	全般	1,653
	景観	312
	動物・生きもの	78
産業 (1,241)	全般	728
	観光・娯楽	447
	農業・水産業	66
公園		1,075
交通 (951)	交通機関	591
	道路	360

分類		件数
教育 (741)	学校	631
	社会教育・生涯学習	110
福祉 (593)	障がい者	226
	高齢者	209
	全般	158
行事・イベント		508
子ども・子育て		454
思いやり・助けあい、協力・協働・交流等		414
スポーツ		374
保健医療		191
文化・芸術・歴史		140
国際関係 (130)	外国人施策	89
	国際理解・国際交流	41
その他	公共施設・行政運営	124
	人権・ジェンダー等	76
	労働	72
	SDGs	63
	科学技術	55
まちづくり全般		1,074
特になし等		4,851

②福岡子ども未来サミット




Aグループ

防犯

今、こうだから

意見募集の結果から
犯罪や事件を不安に思っ
ている人が多い



このような取組みを


- ・大人や子どもが道徳的に考える機会を増やす
- ・犯罪が起きやすい暗い場所を減らす
- ・犯罪などを未然に防ぐための地域の人のつながりや助け合いを引き続き大切にする

Aグループ

食

今、こうだから

新鮮で美味しい食べ物が
多いと答えた人が多い



このような取組みを


- ・地産地消（自分の地域のを自分の地域で消費する）を進める
- ・福岡県の美味しいものを県外にもさらに広める
- ・他の都市のおいしいものも積極的に取り入れる

Aグループ

福祉

今、こうだから

障がいのある方や高齢の方
への配慮が十分であるとは
言いきれない



このような取組みを

- ・バリアフリーにさらに取り組む（道のでこぼこなど段差を減らす）
- ・体験できるイベントを増やすなど、いろいろな方との交流の場をつくる障がいのある方や高齢の方の話を聞く機会を充実させる



Bグループ

子育て

今、こうだから

- 子どもたちが遊べる場所が減っている
- 子育てをしやすい環境を整えることが必要



このような取組みを

- 保育所や幼稚園を支援する
- 小さい子どものいる親同士の交流ができる場やイベントを増やす
- 子どもたちがのびのびと安心して遊ぶことができる公園を整備する

Bグループ

交通

今、こうだから

- 区によっては、交通が不便なところがあるのでは
- 時間帯によっては、道路や車内混雑がひどいことがある



このような取組みを

- バスの本数を増やすことや、バス停が少ないところに設置する
- バスの魅力、使い方を知らせてもらえるような工夫をする
- 人の集まる目的地（天神や博多駅）行きのバスの本数を増やす
- 混雑する時間帯には、臨時便を整備する

Bグループ

食品ロス

今、こうだから

- 食料自給率が低いのに、残飯が多いのでは？
- 食品ロス削減が必要



このような取組みを

- 各家庭での買いだめを控えることにつながる取組みをする
- 食品ロスに関するイベントをする（フードドライブやフードバンクなど）
- コンビニやスーパーなどで、商品を手前から取ることの大切さを伝える取組みをする

Bグループ

交通安全

今、こうだから

- みんなが安心して生活できているのかわからない
- 今後、道路を通る車の量は減ることはない
- 交通事故がますます増えていくことが心配



このような取組みを

- 今も行っている交通安全に関する取組みを引き続き行う（小1ランドセルカバーや黄色い帽子など）
- ガードレールやカーブミラーを増やすなど事故が起きにくい道路づくり



Cグループ

防災

今、こうだから

- 地域によっては浸水やがけ崩れが起きる可能性がある
- 大雨、台風、地震などに強いまちづくりが必要



このような取組みを

- 災害に関する情報をいち早く伝える取組みを引き続き行う
- 災害が起きたときの行動について学べるイベントを行う（避難所体験、地域防災訓練など）
- 各地域の避難場所をさらに充実する

Cグループ

都市開発

今、こうだから

- 都心部にはビルが多く、緑が少なくなっている
- 買物に便利な大きなショッピングモールがある場所とない場所がある



このような取組みを

- 新しく建てたビルなどの周りには、樹木を植えるなどして、自然とのまちとのバランスを大切にしている
- 各地域に駅やバスなどの本数を増やす
- より多くの人が便利になるように買い物できる場所を増やす

Cグループ

環境

今、こうだから

- 自然を大切にしたいまちづくりがされている
- 普段の生活で自然と触れ合うことができているのかわからない



このような取組みを

- これからも今の自然を大切にする取組みを進める
- 福岡市の海や山などの自然を体験できるイベントをする
- リデュース、リユース、リサイクルなどごみを減らす取組みをさらに進める

(7) 有識者インタビュー

各分野の有識者 20 人に、福岡市の現在と将来についてインタビューを実施

※実施日順、敬称略

氏名	主な役職等	実施日
木藤 亮太	株式会社ホーホウ 代表取締役 株式会社油津応援団 取締役	R5. 9. 7
浅野 直人	福岡大学 名誉教授 元・環境省中央環境審議会 会長	R5. 9.13
佐々木 一成	九州大学 副学長、工学研究院 教授 水素エネルギー国際研究センター長	R5. 9.14
岡澤 恭弥	株式会社 STOK 代表取締役社長 福岡市国際金融アンバサダー	R5. 9.15
福岡 孝則	東京農業大学 地域環境科学部造園科学科 准教授	R5. 9.15
石川 善樹	公益財団法人 Well-being for Planet Earth 代表理事 医学博士、予防医学研究者	R5. 9.21
吉岡 泰之	株式会社 gaz CEO 福岡市 DX デザイナー	R5. 9.21
定村 俊満	株式会社ソーシャルデザインネットワークス代表取締役社長 前・福岡市総合計画審議会 委員	R5. 9.26
大西 晋嗣	九州大学 副理事、学術研究・産学官連携本部 教授	R5. 9.29
西高辻 信宏	太宰府天満宮 宮司 Fukuoka Art Next アドバイザリー会議委員	R5.10. 3
谷口 守	筑波大学大学院 システム情報系 社会工学域 教授	R5.10. 4
佐々木 久美子	株式会社グルーヴノーツ 取締役会長 一般社団法人こどもDX推進協会 理事	R5.10. 5
アリソン・バーチ	ステート・ストリート信託銀行株式会社 福岡営業所長	R5.10. 5
西村 幸夫	國學院大學 観光まちづくり学部長・教授	R5.10. 6
小川 全夫	九州大学 名誉教授 前・福岡市総合計画審議会 副会長	R5.10.11
藤沢 久美	株式会社国際社会経済研究所 理事長 福岡市雇用労働相談センター センター長	R5.10.12
樗木 晶子	福岡看護大学 学長	R5.10.17
星野 裕志	九州大学大学院 経済学府マネジメント専攻 教授 前・福岡市総合計画審議会 委員	R5.10.19
安浦 寛人	九州大学 名誉教授 前・福岡市総合計画審議会 会長	R5.10.20
サヘル・ローズ	俳優 子どもの家庭養育推進官民協議会 家庭養育推進アンバサダー	R5.10.27

(8) 民間主導の取組み

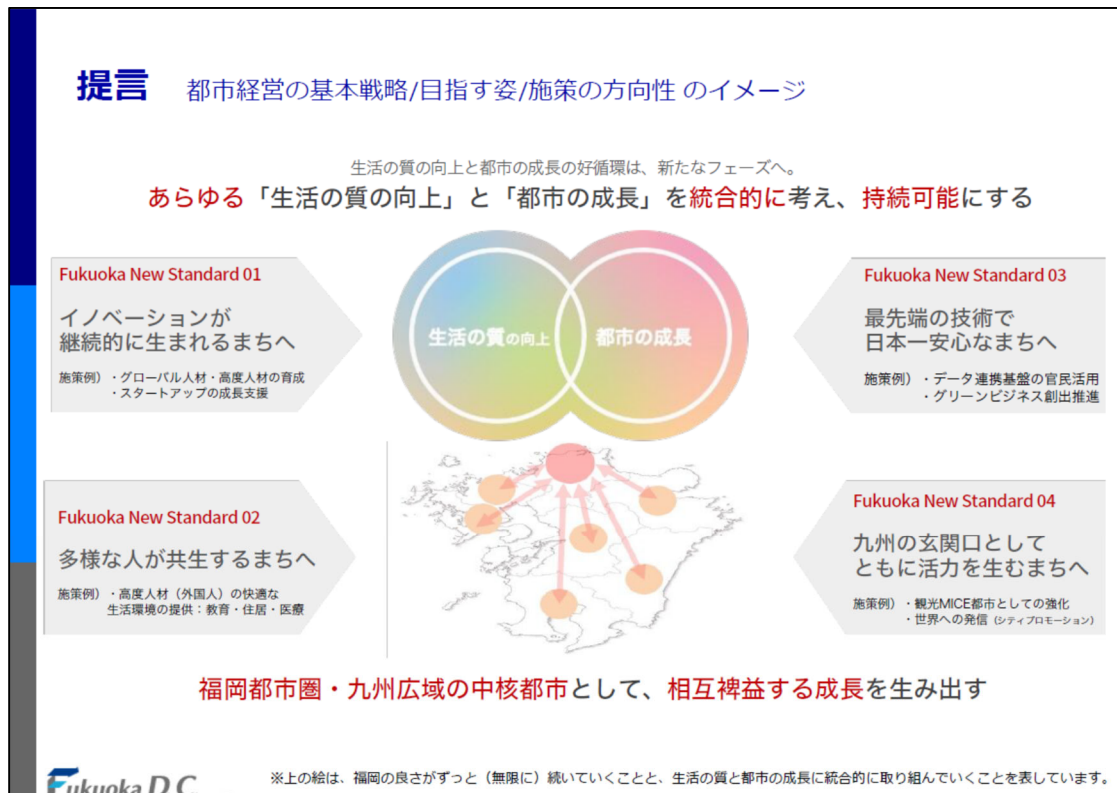
福岡地域戦略推進協議会（FDC）が主体となり、まちづくり団体や経済団体等と連携して、イベントやヒアリングなどを実施。その結果を踏まえ、FDCが市への提言を実施

① 実施内容

- 専用ホームページからの意見受付 個人95件/団体22件
- 市内団体へのヒアリング
福岡商工会議所、九州経済連合会、九州大学、
We Love 天神協議会、天神明治通り街づくり協議会、博多まちづくり推進協議会
- 各種イベント開催
キックオフイベント「10年後の福岡を語る」（65名）
福岡テンジン大学・福岡未来創造プラットフォーム共催イベント「ふくおか未来会議」（54名）
UR都市機構共催イベント「Table Session Tenjin『10年後も働きたいまち』」（19名）
福岡音楽都市協議会共催イベント「音楽都市福岡の未来」（38名）
- FDC 会員への意見聴取
FDC 会員ワークショップ（35名）
産業創造部会（62名）、都市創造部会（73名）、デジタル部会（70名）

② 提言

- 「都市経営の基本戦略」のアップデート
- 4つの「目指す姿」と「施策の方向性」 など



2 福岡市の将来人口推計について

(1) 趣旨

次期福岡市基本計画の策定に向けた検討にあたって、その基礎的な資料となる将来人口について推計結果を報告するもの。

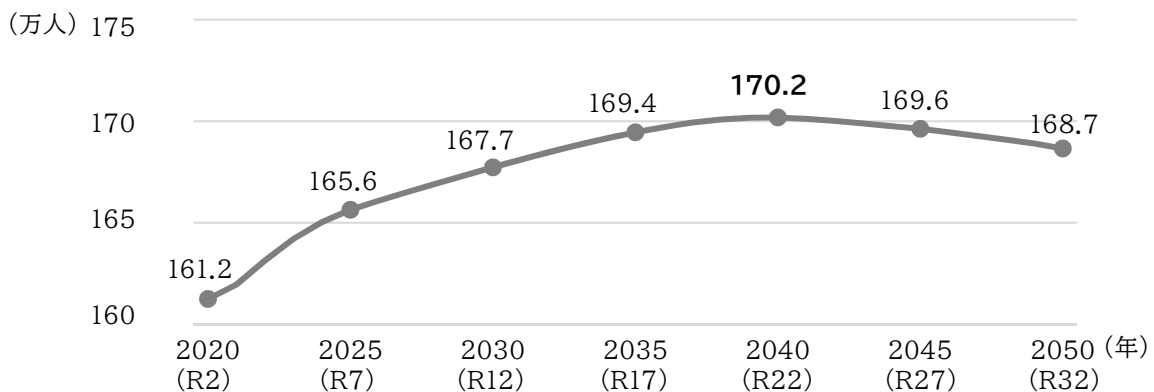
推計期間は、2020(令和2)年を基準時点とし、2050(令和32)年までとする。

(2) 推計結果の概要

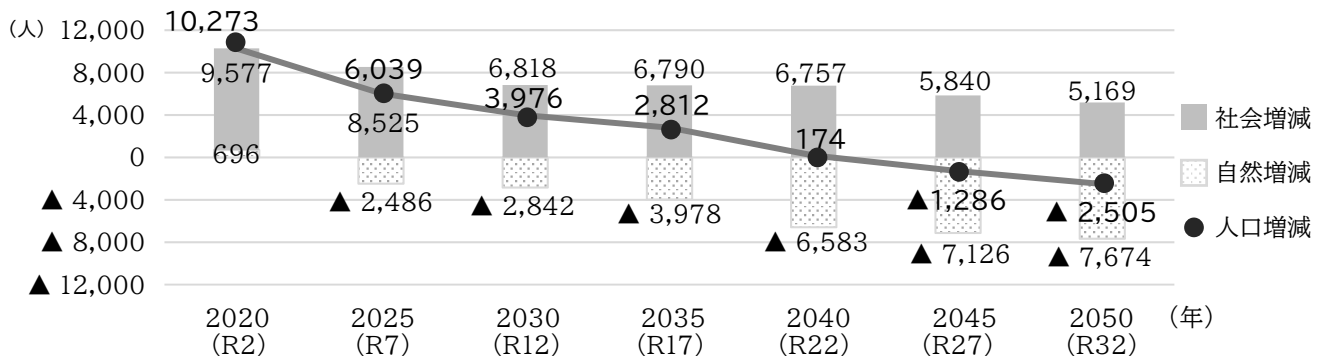
- 福岡市における総人口のピークは、2040(令和22)年頃で約170万人に達する。
- 年少人口(0~14歳)は、減少傾向にあるが、全国では、2050(令和32)年頃までに約31%の減少が予想される中、福岡市では約17%の減少にとどまる。
- 生産年齢人口(15~64歳)は、増加傾向にあるが、2030(令和12)年頃をピークに減少に転じる。
- 高齢者人口(65歳以上)は、引き続き増加し、2050(令和32)年頃には約31%に達するが、その後、減少に転じる。
- 区別人口は、総人口のピークである2040(令和22)年以降は減少に転じる。
- 世帯数は、単独世帯の増加が顕著となり、2040(令和22)年頃には6割を超える。

(3) 推計結果

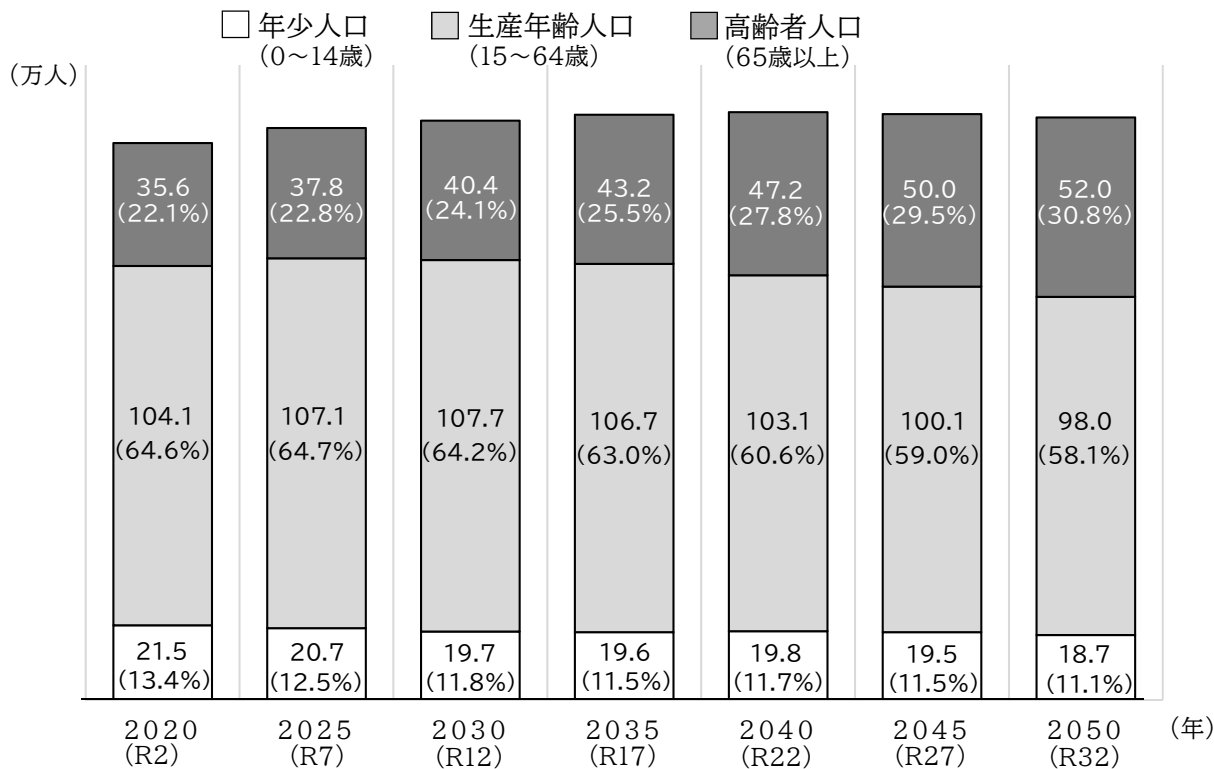
① 総人口



【人口増減の内訳】

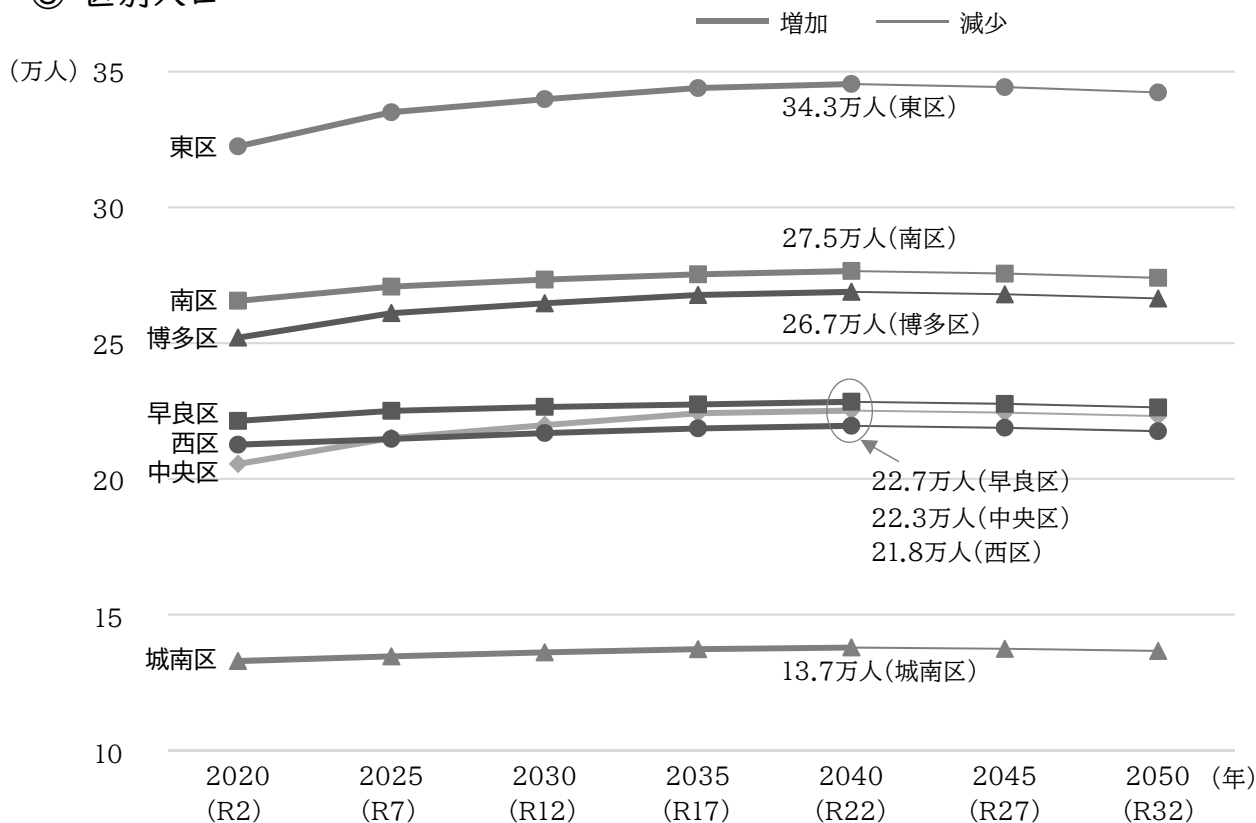


② 年齢階層別人口

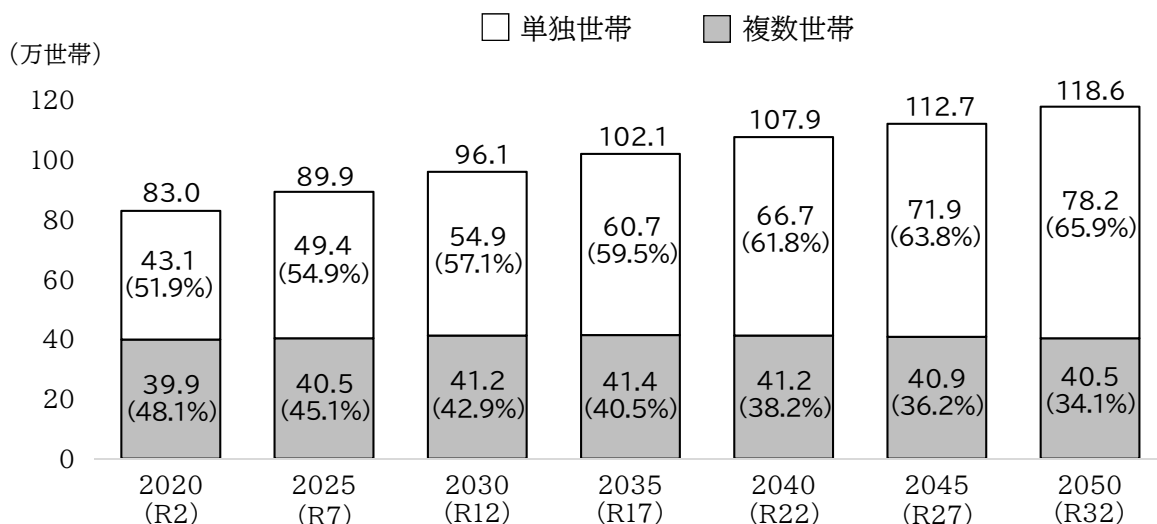


(注) 2020(R2)については、不詳補完値による集計(年齢不詳を人口構成をもとに按分)

③ 区別人口



④ 世帯数



【参考】推計方法

1 人口

(1) 推計手法

将来人口は、国連にも採用され、推計方法として一般的で有用性が高いとされるコーホート要因法※で推計

※コーホート要因法とは、人口変動要因である自然増減（出生・死亡）及び社会増減（転出・転入）について、過去の実績をもとに将来値を仮定し、それに基づいて推計する方法

(2) 推計の考え方

① 将来生残率

2020（令和2）年国勢調査に基づき、国立社会保障・人口問題研究所が行った「日本の将来推計人口（令和5年推計）」で設定された男女年齢別将来生命表の全国中位値を使用

② 合計特殊出生率

2020（令和2）年国勢調査に基づき、国立社会保障・人口問題研究所が行った「日本の将来推計人口（令和5年推計）」で設定された合計特殊出生率の全国中位値と福岡市における直近の出生率の動向を勘案し、全国比が将来にわたり一定に推移するものとして算出

③ 社会移動率

2000（平成12）年から2020（令和2）年までの20年間の社会移動率をもとに、5年後の純社会移動率を求める方法を基本とし、過去の特異な影響を除外した社会移動率を設定

2 世帯数

将来の推計人口に将来の世帯主率（人口に占める世帯主の割合）を掛けて世帯数を求める手法で推計。将来の世帯主率は、過去の国勢調査結果から世帯主率を計算し、これまでの動向などをもとに将来値を設定